

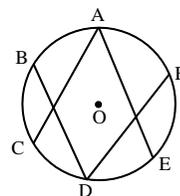
(1) 次の式を因数分解すると、 $(x+3)(2x-1)-(x+2)(x-2)-(4x+3) = \boxed{\text{①}}$ である。

(2) あるスーパーに買い物に来た 100 人に調査をしたところ、商品 A を購入した客が 66 人、商品 B を購入した客も 66 人であった。商品 A, B のいずれも購入した客は、 $\boxed{\text{②}}$ 人以上である。

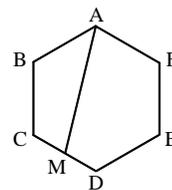
(3) ある数 x に 4 を加えてから 2 乗するつもりが、4 を加えてから 2 倍してしまったため、計算結果は 35 小さくなった。このとき、 $x = \boxed{\text{③}}$ である。

(4) 3 直線 $x+y=-1$, $x-ay=-9$, $ax-y=5$ によって作られる三角形の 2 つの頂点の座標が $(1, -2)$, $(-3, 2)$ であるとき、この三角形のもう 1 つの頂点の座標は、 $\boxed{\text{④}}$ である。

(5) 右の図のように、6 点 A, B, C, D, E, F が円 O の周上にあり、 $\angle CAE = 50^\circ$, $\widehat{AB} = \widehat{BC}$, $\widehat{AF} = \widehat{FE}$ であるとき、 $\angle BDF = \boxed{\text{⑤}}$ 度である。



(6) 正六角形 ABCDEF において、辺 CD の中点を M とするとき、四角形 ABCM の面積は、五角形 AMDEF の面積の $\boxed{\text{⑥}}$ 倍である。



(7) A さんがさいころ 2 個、B さんがさいころ 1 個を同時に投げる。A さんは出た目のうちの大きい方 (同じ目の場合はその数) を得点とし、B さんは出た目を得点とするとき、A さんと B さんが同点になる確率は、 $\boxed{\text{⑦}}$ である。